

平成16年度中小企業金融実態調査概要

平成16年11月1日
富山県商工会連合会

・調査目的

県下商工会地区の中小企業者の金融に関する実態や動向を把握し、中小企業金融の円滑化を促進するための基礎資料を得ることを目的としています。

・調査対象および方法

商工会地区の中小企業（特に小規模事業者）のうち、690企業を無作為抽出し、商工会の指導員の面接により調査を行った。

・調査時期および実施期間

調査記入時点	平成16年9月1日 現在
調査実施期間	平成16年9月2日～9月17日

・回答状況

調査対象企業数	690社
回答企業数	655社（回収率94.9%）

・調査結果の概要

県内中小企業は、売上高や採算面において若干の増加企業や黒字企業が増えており、資金繰りも改善の兆しが見られる。企業の借入額は今年3月頃に比べ全般的に減っている。また金利の上昇はあるものの、新規借入の満足度については、14年調査に比して若干改善の方向にある。

今後1年間に30.8%の企業が借入を計画しており、設備資金の用途では「土地建物取得」等の大口設備に若干の動きが見られる。

貸し渋りについては、20.8%が「ある」と回答しており、内容を見ると、「金額査定減・追加融資不可」等が増加しており依然厳しい金融環境にある。

現在借入の条件変更希望は減っているものの、借入返済額が過重で、返済期間の延長を希望する企業が目立っている。

ペイオフの全面解禁について、17.1%が17年3月までに対応を要する企業で、何んらかの指導が必要である。また、緊急時の資金借入について、約1/4の企業がカード・ローン等、高金利金融に依存している。

今回の特徴点（前回比較）

- (1) 売上増加企業は、前回より7.6ポイント増加している。
- (2) 黒字企業は4.2%増え、赤字企業は、7.5%減少している。

- (3) 10～12月の資金繰り予想では、楽になるが0.8ポイント増え、苦しくなるは11.2ポイント減少し、改善している。
- (4) 借入先は、政府系金融機関が6.2ポイント減少し、目立っている。
- (5) 借入額は、「増えた」が4ポイント増加している。
- (6) 借入金利は、「上がった」が1.1ポイント増加し、「下った」は5.7ポイント減少した。
- (7) 「貸し渋り」の有無は、「ある」が0.1ポイント増加し、「ない」が2.6ポイント増加した。
- (8) 借入返済の条件変更の希望は、「希望しない」企業が5.2ポイント増加している。
- (9) 経営が著しく悪化した場合の相談先に49.6%の企業が「商工会」を挙げており、次に33.7%が「金融機関」を挙げている。
- (10) 設備資金の用途では、「土地建物取得」等の大口投資が4.9ポイント増加し動意が見られる。
- (11) 借入時、企業は、「金利が低い」ことと、「条件が有利」なことに力点をおいている。
- (12) 企業は、借入後の「返済力」に懸念を抱いている。
- (13) 緊急に資金が必要(明日必要)な時がある]と、22.1%が答え、そのうちの24.1%の企業がカード・ローンで調達したと回答している。
- (14) 今後の資金調達方法に「中小企業支援ファンド」が注目されている。
- (15) 制度融資について、「県小口」資金の取り扱いが増加し、「マル経」「マル商」が減っている。
- (16) 融資制度の「内容・条件の緩和」に1/4の企業が「第三者保証の緩和」をあげている。

なお、経年比較について、平成15年度の調査は、富山県商工労働部が6月に実施した同種の調査に参画したため、平成14年度の調査と比較を行っている。

調査結果（% = 構成比）

1 回答企業の概要

(1) 業種

建設業	28.1%	飲食・宿泊業	7.8%
製造業	18.8%	サービス業	11.3%
卸売業	3.1%	運輸業	4.6%
小売業	24.7%	その他	1.7%

(2) 創業してから何年

2年未満	0.6%	20年未満	10.1%
5年未満	2.0%	30年未満	18.9%
10年未満	5.2%	50年未満	34.4%
15年未満	7.6%	50年以上	21.1%

(3) 常用従業員数

0人	25.5%	6～10人	16.0%
1人	12.8%	11～15人	7.0%
2人	9.0%	16～20人	5.3%
3～5人	18.3%	21人以上	5.6%

(4) 年間売上高

500万円未満	2.4%
500～1000万円未満	7.0%
1000～3000万円未満	26.1%
3000～5000万円未満	16.6%
5000～1億円未満	18.0%
1億円以上	29.3%
無記入	0.5%

2 営業の状況

(1) 年間売上高の増減率（対前年同期比）

年間売上高の減少企業が全体では60.8%となり前回調査より7.3ポイント減少した。

これを業種別にみると、小売業、飲食業、サービス業、建設業、卸売業、製造業、運輸業の順で高い。さらに従業員規模では、小規模～中堅規模で落ち込みが目立った。

売上増加は前回より7.6ポイント増加しており、運輸業、製造業、卸売業の順で高い。規模別では、21人以上、11人～15人、6人～10人の順で高い。

年間売上高の増減率		16年	14年
増 加	5%未満	16.6%	11.9%
	5～10%未満	10.2%	9.3%
	10～20%未満	7.9%	6.6%
	20%以上	3.4%	2.7%
	計	38.1%	30.5%
減 少	5%未満	20.5%	20.4%
	5～10%未満	21.1%	19.8%
	10～20%未満	11.9%	16.6%
	20%以上	7.3%	11.3%
	計	60.8%	68.1%
無 記 入	1.1%	1.4%	

(2) 採算の状況

現在の採算状況

黒字企業が29.6%と前回より4.2ポイント増加し、赤字企業は、25.0%と7.5ポイント減少し改善の跡が窺える。

黒字企業を業種別にみると、製造業、卸売業、小売業、運輸業、サービス業の順で高く、赤字企業ではサービス業、建設業、小売業、卸売業、飲食業の順で高い。

また規模別での黒字企業は、21人以上、1人、11～15人、0人の順で高く、規模大の企業と小規模の2極に分かれている。

現在の採算状況		16年	14年
黒	字	29.6%	25.4%
赤	字	25.0%	32.5%

収支トントン	44.9%	41.2%
無記入	0.5%	1.0%

採算状況（対前回比較）

採算状況を対前回と比較すると、好転が8.0ポイント増加し、悪化が18.8ポイント減少した。改善の兆しが窺える。

採算状況	16年	14年
好転した	16.2%	8.2%
悪化した	43.1%	61.9%

3 資金繰り状況

（1）今年10～12月の資金繰り予想

「大変苦しくなる」と「苦しくなる」の合計では、前回より11.2ポイント減少し、34.3%。「変わらない」が10.1ポイント増加して50.5%となり、資金繰り予想は改善の兆しがある。

「苦しい」を業種別でみると、小売業の39.6%、サービス業の39.2%、製造業の38.0%、卸売業の35.0%等の順で高い。

今年10～12月の資金繰り	16年	14年
大変苦しくなる	3.2%	6.3%
苦しくなる	31.1%	39.2%
計	34.3%	45.5%
変わらない	50.5%	40.4%
楽になる	1.8%	1.1%
計	52.3%	41.5%
わからない	12.5%	11.3%
無記入	0.8%	1.8%

（2）資金繰りが苦しくなる原因（2つ以内で回答）

「苦しくなる」理由は、「売上が予想額に達しない」70.2%が圧倒的に高く、次いで「利益が予定に達しない」42.2%、「借入返済額が大きい」18.2%、「経費が増大」13.3%、「売上代金の回収悪化」が11.1%と続いている。

（2つの複数回答）

「その他」の理由として、「支払手形を発行しなくなったため」とか、「老朽化した設備を入替したため」苦しくなったという意見が寄せられている。

苦しくなる原因	16年	14年
売上予定額未達	70.2%	74.2%
売上利益予定未達	42.2%	49.5%
手形受領多い	5.3%	4.2%
手形期日長期	1.8%	1.8%
金融機関借入不円滑	8.4%	7.8%
借入返済額大きい	18.2%	18.4%
在庫増大	4.4%	2.8%
売上代金回収悪い	11.1%	8.5%
焦付き・貸倒れ発生	3.1%	2.5%
経費の増大	13.3%	8.5%
その他	3.6%	0.7%

4 金融機関との取引状況 等

(1) 今年8月末の預金残高

前回調査と同様の割合となった。

預金残高	16年	14年
300万円未満	39.1%	38.6%
500万円未満	14.2%	15.9%
1000万円未満	15.7%	14.6%
2000万円未満	11.5%	13.0%
5000万円未満	10.2%	9.2%
5000万円以上	5.8%	5.1%
無記入	3.5%	3.5%

(2) 今年8月末の借入額

前回より300～500万円未満、300万円未満、1000～3000万円未満等の層で借入が6.1ポイント増加し、500～1000万円未満、1億円以上で5.5ポイント減少したが若干の変動で、全体では余り変わりがない。

借入額	16年	14年
300万円未満	25.4%	23.6%
300～500万円	9.5%	7.6%
500～1000万円	11.1%	15.1%

1000～ 3000万円	24.3%	22.7%
3000～ 5000万円	11.5%	11.4%
5000～1億円未満	9.9%	9.2%
1億円以上	6.4%	7.9%
無 記 入	2.0%	2.6%

(3) ペイオフ全面解禁 (今回初めての質問)

77.4%が17年4月からの解禁に、対応しなくてもよい企業である。

「これから対応する」は17.1%となっており全面解禁までに適切な対応が求められる。

ペイオフ全面解禁	16年
預金高が少ないので対応せず	63.5%
対応が済んでいる	13.9%
これから対応する	17.1%
その他・無記入	5.5%

(4) 現在の借入先(多い順に3つ回答)

前回調査と比べ、普通銀行・農協が若干増加している。反面、政府系金融機関が6.2ポイントの減少で目立っている。

現在の借入先	16年	14年
普通銀行	62.3%	61.1%
信用金庫	39.5%	41.6%
信用組合	7.3%	7.1%
国民公庫	52.4%	58.0%
中小公庫	5.3%	5.6%
商工中金	1.5%	1.8%
農 協	6.9%	5.8%
その他	4.6%	4.3%
無記入	-	8.2%

(5) 借入額は(今年3月頃に比べて)

「増えた」29.9%、「変わらず」27.0%、「減った」35.0%となり、「増えた」が4ポイント多くなっている。

借入額は全体で縮減傾向にある。

借入額は	16年	14年
増えた	29.9%	25.9%
減った	35.0%	35.2%
変わらず	27.0%	32.2%
無記入	8.1%	6.8%

(6) 金利は(今年3月頃に比べて)

「上がった」が1.1ポイント増加し、「下がった」は5.7ポイント減少している。

金利は	16年	14年
上がった	7.0%	5.9%
下がった	9.6%	15.3%
変わらず	73.3%	70.7%
無記入	9.6%	8.0%

(7) 現在の借入金利(平均)

平均金利は、「2.0~2.5%未満」が中心で、前回より8.9ポイント減少して36.6%となった。また「2%未満」が10.9ポイント増加して27.5%となっており、引続き低金利化が進んでいると思われる。

現在の借入金利	16年	14年
2.0%未満	27.5%	16.6%
2.0~2.5%未満	36.6%	45.5%
2.5~3.0%未満	16.9%	19.5%
3.0~3.5%未満	4.7%	4.0%
3.5~4.0%未満	2.3%	2.6%
4.0~4.5%未満	0.5%	0.5%
4.5%以上	0.2%	0.3%
無 記 入	11.3%	11.1%

(8) 最近6ヶ月間の借入申込(借入申込実績)

「した」が前回より9.2ポイント増加した。業種別では建設業、運輸業、製造業、卸売業、飲食業の順が多い。「しなかった」は8.2ポイント減少し、サービス業、小売業、卸売業で多くみられた。

借入申込	16年	14年
した	53.3%	44.1%
しなかった	44.7%	52.9%
無記入	2.0%	3.1%

(9) 借入の満足度

「非常に満足」が前回より7.8ポイント増加し、「まあ満足」が11.8ポイント減少した。また「不満」と「ことわられた」を合わせると8.6%となり、一部で厳しさがうかがわれる。

借入の満足度	16年	14年
非常に満足	23.5%	15.7%
まあ満足	63.0%	74.8%
不満	7.7%	6.6%
ことわられた	0.9%	1.5%
無記入	4.9%	1.5%

(10) 「貸し渋り」の有無

「ある」が前回より0.1ポイント増加、「ない」が2.6ポイント増加した。

「ある」を業種別で見ると、建設業、小売業、運輸業の順で高い。

「貸し渋り」の有無	16年	14年
ある	20.8%	20.7%
ない	74.8%	72.2%
無記入	4.4%	7.0%

(11) 「貸し渋り」の内容(3つの複数回答)

「貸し渋り」の内容をみると、前回より「金額査定減」8.7ポイント、「追加融資不可」「審査期間の長期化、資料の増加」がそれぞれ6.4ポイントの増加となった。

一方、「既往貸付の回収」が16.3ポイント、「担保・保証人の強化」が14.1ポイント、「金利の上乗せ」が4.8ポイント、「保証協会の付保」が3.9ポイント減少しており、国・県の金融対策の推進効果が認められる。

また「その他」具体的な意見として、「審査が厳しい」「売上高が悪すぎるという理由で満足な借入できなかった」というものがあった。

「貸し渋り」の内容	16年	14年
追加融資不可	40.4%	34.0%
金額査定減	38.5%	29.8%
保証協会の付加	36.5%	40.4%
担保・保証人の強化	32.7%	46.8%
審査期間の長期化、資料の増加	19.2%	12.8%
既往貸付の回収	13.5%	29.8%
金利の上乗せ	5.8%	10.6%
その他	1.9%	2.1%

(12) 借りにくい、借りられない理由

前回より「借入残高が多い」、「保証人がいない」、「取引実績がない」が減少しているものの、「業績が思わしくない」が8.7ポイント増加して38.5%を占めた。

借りにくい、借りられない理由	16年	14年
業績が思わしくない	38.5%	29.8%
借入残高が多い	30.8%	36.2%
担保力がない	11.5%	10.6%
しっかりした保証人がいない	5.8%	6.4%
取引実績がない	0.0%	4.3%
取引実績が悪い	3.8%	2.1%
その他	0.0%	4.3%
無記入	9.6%	6.4%

(13) 借入返済の条件変更（希望の有無）

条件変更を「希望しない」企業が、前回調査と比べ5.2ポイント増加し、「希望する」が、4.2ポイント減少した。

条件変更	16年	14年
希望する	17.7%	21.9%
希望しない	78.0%	72.8%
無記入	4.3%	5.3%

(14) 希望する条件変更

「返済期間の延長」、「長期資金への切り替え」の合計では、前回と余り変わらない。

「その他」では、「金利を下げたい」というものがあった。

希望する条件変更	16年	14年
返済期間の延長	46.6%	41.9%
長期資金への切り替え	24.1%	29.4%
元金返済の一時据置	16.4%	19.1%
担保等の軽減	6.0%	5.1%

(15) 条件変更を希望する理由

「売上高の減少」が前回比19.7ポイント減少したものの、「借入返済額過重」が前回に比べ17.8ポイント増加しており、返済負担が重く押し掛かっている。「返済負担過重」を業種別でみると卸売業、小売業、飲食業、運輸業の順で高くなっている。

「その他」意見として、「返済金の一本化」、「金利の引き下げ」等が見られた。

希望する理由	16年	14年
借入返済額過重	50.9%	33.1%
売上高の減少	31.0%	50.7%
借入難	5.2%	3.7%
経営外への資金流出	2.6%	0.0%
不良債権の発生	2.6%	2.2%
取引条件の悪化	1.7%	3.7%
その他	1.7%	1.5%
無記入	4.3%	5.1%

(16) 条件変更の難易

前回調査と比べ、「容易である」が1.5ポイント増加し、「交渉次第で何とかなる」もの5.1ポイント増加。逆に「難しい」が8.3ポイント減少している。

難しい理由として、「銀行間の駆け引きがある」、「借入時の条件の一点張り」、「次の取引が難しくなる」等が見られた。

条件変更の難易	16年	14年
容易である	5.2%	3.7%
交渉次第で何とかなる	50.0%	44.9%
難しい	38.8%	47.1%

(17) 金融機関からの借入金返還要求の有無

「あ る」が5.6%で、前回と比べ4.2ポイント減少している。
業種別では建設業、運輸業、サービス業、小売業、製造業、の順で高い。

借入金返還要求	16年	14年
あ る	5.6%	9.8%
な い	90.8%	85.7%
無 記 入	3.5%	4.5%

(18) 経営が著しく悪化した場合の相談先（今回初めての質問）

先行きに問題が生じたとき、まず第一に相談に行くところは商工会49.6%、次に金融機関33.7%となっている。

「その他」では、会計士・税理士・親企業・請負先・仕入先・不動産屋・フランチャイズ本部 等が見られた。

経営指導員には、一層の尽力をお願いしたい。

相談先	16年
商工会	49.6%
県・支援センター	1.7%
金融機関	33.7%
政府系金融機関	1.2%
親戚・友人・知人	6.0%
その他	3.1%
無記入	4.7%

5 資金調達 等

(1) 今後の借入計画（1年間）

「あ る」は前回と比べ5.4ポイント減少している。

業種別にみると、運輸業46.7%、卸売業40.0%、製造業35.0%、建設業31.5%とこの4業種で圧倒的に高い。

規模別では、11人以上の規模が48%台を占めている。

借入計画	16年	14年
あ る	30.8 %	36.2 %
な い	66.7 %	62.7 %
無 記 入	2.4 %	1.1 %

(2) 計画ある場合の資金使途（無記入除外、回答数構成比）

「設 備」の内訳をみると、前回調査と比べ「土地・建物の取得」、「従業員福祉施設の設置」等の大口設備が4.9ポイント増加している。業種別では、製造業に動きがある。

一方、「運 転」では「買掛金・手形決済」、「諸経費の支払・納税」、「商品・原材料の現金買い」が最も多く、建設業、小売業、製造業の順で需要が強い。

		資金使途	16年	14年
設 備	製造機器	12.5 %	}	製造・車含め
	パソコン等のIT機器	8.9 %		
	車両等の購入	30.4 %		
	工場・店舗等の補修・改修	25.9 %	26.1 %	
	土地・建物の取得	11.6 %	7.5 %	
	公害防止関係設備	2.7 %	2.2 %	
	従業員福祉施設の設置	1.8 %	1.5 %	
	そ の 他	6.3 %	6.7 %	
運 転	買掛金・手形決済	40.5 %	40.2 %	
	諸経費の支払い・納税	23.8 %	21.5 %	
	商品・原材料の現金買い	17.9 %	19.6 %	
	給与・賞与等の支払い	9.5 %	9.1 %	
	他の借入返済に充当	6.5 %	7.2 %	
	新分野進出への準備金	1.8 %	2.4 %	

(3) 借入時の重視条件（2つの複数回答）

前回と比べ、トップの「金利が低い」2.6ポイント、「条件が有利」3.6ポイントそれぞれ増加した。

借入時の重視条件		16年	14年
直接条件	金利が低い	62.1%	59.5%
	条件が有利	44.9%	41.3%
	返済期間が手頃	24.0%	22.8%
間接条件	日頃のつきあい	16.5%	18.3%
	近くにあって便利	14.7%	16.7%
	経営上の相談指導が得られる	14.4%	14.0%
	サービスが良い	3.7%	3.2%
	その他	1.1%	0.6%
	無記入	0.0%	5.1%

(4) 借入を考える場合、何が懸念されるか(2つの複数回答)

今回は「借入後の返済力」がトップで、次いで「業況の先行き見通し難」となった。

何が懸念されるか	16年	14年
借入後の返済力	54.2%	45.3%
業況の先行き見通し難	52.1%	59.3%
連帯保証人	18.2%	23.8%
不動産担保余力	3.2%	7.6%
金融機関の対応	10.8%	5.8%
信用保証協会の付保	5.6%	3.7%
後継者難	8.2%	6.4%
その他	0.3%	0.2%
特になし	9.8%	9.6%

(5) 緊急に資金が必要(明日必要)な時(初めての質問)

回答の4分の1位いで「ある」と回答。業種別で見ると小売業、卸売業、製造業、サービス業、運輸業の順で高い。規模別では、0人・16~20人、21人以上、1人、3~5人・6~10人で20%を超えている。

緊急に資金が必要(明日必要)な時	16年
ある	22.1%
ない	74.5%
無記入	3.4%

(6) どのように手当てしたか (初めての質問)

「当座借越」と「手形借入」で51.7%と半数を占めているが、「カード・ローン」も24.1%を占めた。

カード・ローンを業種別で見ると、製造業、小売業、飲食業で高く、規模別で見ると、2人、1人、3～5人、0人で多い。

「その他」具体的には、個人預金の解約・家族借入・生保解約・親戚借入・便局借入等の意見が見られた。

どのように手当てしたか	16年
当座借越	24.8%
手形借入	26.9%
根拠借入	2.1%
カード・ローン	24.1%
その他	17.9%
無記入	4.1%

(7) 資金調達について (初めての質問)

回答率は43.8%となった。

支援ファンド13.1%を業種別に見ると、製造業、サ・ビス業、飲食業、運輸業の順で高い。また規模別に見ると、規模の大きいほど割合が高い。

資金調達	16年
CLO	8.5%
支援ファンド	13.1%
出資の受入	7.8%
社債の発行	2.0%
私募債	3.7%
その他	8.7%

6 制度融資 等

(1) 国・県・市町村の融資制度の利用

前回調査と比べると、「ある」は19.9ポイント減少しており、逆に「ない」が20.9ポイント増加した。

「ない」を業種別に見ると、サ・ビス業、小売業、製造業、運輸業、建設業の順で高く、規模別では21人以上、0人、1人、11～15人、16～20人の順で多い。

融資制度の利用	16年	14年
あ る	54.2%	74.1%
な い	42.3%	21.4%
知 ら な い		2.7%
無 記 入	3.5%	1.8%

(2) どの制度を利用したか (2つの複数回答)

「マル経」と「マル商」が減少している。

県小口は民間金融機関の積極的な取り扱いが高い割合に繋がったものと思われる。

どの制度を利用したか	16年	14年
マル経	35.8%	55.5%
県小口	61.4%	54.5%
マル商	8.7%	27.3%
その他	18.0%	(14年はそれぞれの設問による回答)

(3) 制度を利用しない理由

前回調査に比べ、「利用する必要がない」が6.2ポイント増加し、「手続き面倒」・「条件合致せず」が6.7ポイント減少している。「制度を知らない」は5.1%であった。

利用しない理由	16年	14年
利用する必要がない	84.1%	77.9%
メリットがない	2.2%	-
手続き面倒	3.2%	5.8%
融資条件合致せず	4.0%	8.1%
制度を知らなかった	5.1%	
その他		3.5%
無記入	1.4%	4.7%

(4) 制度の内容や条件を緩和としたら(16年は2つの複数回答)

前回調査に比べ「限度額を増やす」は増加しているものの、「期間」、「手続き」、「保証枠」は減少している。

今回設けた「第三者保証の緩和」は、期待の大きいことがうかがえる結果となった。

緩和する内容条件	16年	14年
限度額を増やす	23.7%	6.4%
期間を延長する	29.3%	18.0%
金利を下げる	44.4%	22.3%
申込手続を簡単に	30.5%	23.2%
保証協会枠拡大	15.3%	13.2%
第三者保証の緩和	24.6%	-
その他	0.6%	3.9%

以上

中小企業金融実態調査集計表(全体、4ヵ年比較)

上段 実数
(下段 構成比)
N A 無記入

区	分	12年度	13年度	14年度	16年度	
企業の概要についておたずねします	(1) 業種は次のうちどれにあたりますか	建設業	141 (23.9)	140 (24.9)	174 (28.0)	184 (28.1)
		製造業	91 (15.4)	103 (18.3)	115 (18.5)	123 (18.8)
		卸売業	12 (2.0)	14 (2.5)	16 (2.6)	20 (3.1)
		小売業	186 (31.5)	146 (25.9)	176 (28.3)	162 (24.7)
		飲食業・宿泊業	51 (8.6)	43 (7.6)	40 (6.4)	51 (7.8)
		サービス業	79 (13.4)	77 (13.7)	70 (11.3)	74 (11.3)
		運輸業	22 (3.7)	26 (4.6)	21 (3.4)	30 (4.6)
		その他	7 (1.2)	13 (2.3)	10 (1.6)	11 (1.7)
		N A	1 (0.2)	1 (0.2)	0 (-)	0 (-)
	(2) 創業してから何年になりますか	2年未満	8 (1.4)	6 (1.1)	3 (0.5)	4 (0.6)
		2～5年未満	20 (3.4)	18 (3.2)	18 (2.9)	13 (2.0)
		5～10年未満	50 (8.5)	44 (7.8)	42 (6.8)	34 (5.2)
		10～15年未満	64 (10.8)	56 (9.9)	51 (8.2)	50 (7.6)
		15～20年未満	52 (8.8)	66 (11.7)	51 (8.2)	66 (10.1)
		20～30年未満	124 (21.1)	124 (22.0)	137 (22.0)	124 (18.9)
		30～50年未満	179 (30.3)	159 (28.2)	202 (32.5)	225 (34.4)
		50年以上	92 (15.6)	88 (15.6)	116 (18.6)	138 (21.1)
		N A	1 (0.2)	2 (0.4)	2 (0.3)	1 (0.2)
	(3) 3か月以上継続雇用・パート含家族除 常時使用する従業員は何人ですか	0人	175 (29.7)	158 (28.1)	162 (26.0)	167 (25.5)
		1人	80 (13.6)	75 (10.1)	87 (14.0)	84 (12.8)
		2人	63 (10.7)	57 (10.1)	60 (9.6)	59 (9.0)
		3～5人	88 (14.9)	90 (16.0)	105 (16.9)	120 (18.3)
		6～10人	66 (11.2)	72 (12.8)	90 (14.5)	105 (16.0)
		11～15人	46 (7.8)	34 (6.0)	46 (7.4)	46 (7.0)
		16～20人	32 (5.4)	32 (5.7)	34 (5.5)	35 (5.3)
		21人以上	38 (6.4)	39 (6.9)	37 (5.9)	37 (5.6)
		N A	2 (0.3)	6 (1.1)	1 (0.2)	2 (0.3)

区 分		12年度	13年度	14年度	16年度
営業 の 状 況 に つ い て お た ず ね し ま す	(4) ですか この一年間の売上高はどのくらい	500万円未満 (1.9) 11	(3.0) 17	(2.1) 13	(2.4) 16
	500～ 1000万円未満 (8.5) 50	(10.1) 57	(6.3) 39	(7.0) 46	
	1000～ 3000万円未満 (26.9) 159	(26.6) 150	(26.0) 162	(26.1) 171	
	3000～ 5000万円未満 (16.3) 96	(14.6) 82	(15.6) 97	(16.6) 109	
	5000～ 1億円未満 (17.8) 105	(18.1) 102	(20.4) 127	(18.0) 118	
	1億円～1億 5000万円未満 (28.1) 166	155	64	(10.5) 69	
	1億5000万円 以上 (28.1) 166	(27.5) 155	(19.0) 118	(18.8) 123	
	N A	3	-	2	3
	(5) 増加	5%未満 (16.1) 95	(14.7) 83	(11.9) 74	(16.6) 109
	5～10%未満 (9.2) 54	(6.7) 38	(9.3) 58	(10.2) 67	
10～20%未満 (4.7) 28	(4.4) 25	(6.6) 41	(7.9) 52		
20%以上 (1.9) 11	(2.5) 14	(2.7) 17	(3.4) 22		
(5) 減少	5%未満 (24.1) 142	(25.5) 142	(20.4) 127	(20.5) 134	
5～10%未満 (22.0) 130	(20.0) 115	(19.8) 123	(21.1) 138		
10～20%未満 (13.2) 78	(16.3) 92	(16.6) 103	(11.9) 78		
20%以上 (6.8) 40	(8.5) 48	(11.3) 70	(7.3) 48		
N A	12	6	9	7	
採 算 状 況 は い か が	(6) 現在	黒字 (29.3) 173	(24.5) 138	(25.4) 158	(29.6) 194
	収支トントン (44.6) 263	(45.6) 257	(41.2) 256	(44.9) 294	
	赤字 (24.7) 146	(29.0) 163	(32.5) 202	(25.0) 164	
	NA (1.4) 8	(0.9) 5	(1.0) 6	(0.5) 3	
	2年前と比べて	好転した (11.9) 70	(6.9) 39	(8.2) 51	(16.2) 106
	変わらない (30.0) 177	(27.2) 153	(23.3) 145	(35.1) 230	
	悪化した (54.1) 319	(60.4) 340	(61.9) 385	(43.1) 282	
	わからない (1.2) 7	(0.9) 5	(1.1) 7	(2.9) 19	
	N A	17	26	34	18
	(2.9) 17	(4.6) 26	(5.5) 34	(2.7) 18	

区 分		12年度	13年度	14年度	16年度		
営業の状況についておたずねします	(7) 10～12月の資金繰り状況	大変苦しくなる	26 (4.4)	49 (8.7)	39 (6.3)	21 (3.2)	
		苦しくなる	220 (37.3)	228 (40.5)	244 (39.2)	204 (31.1)	
		変わらない	255 (43.2)	205 (36.4)	251 (40.4)	331 (50.5)	
		楽になる	18 (3.1)	5 (0.9)	7 (1.1)	12 (1.8)	
		わからない	56 (9.5)	64 (11.4)	70 (11.3)	82 (12.5)	
		N A	15 (2.5)	12 (2.1)	11 (1.8)	5 (0.8)	
	(8) 資金繰り 大変苦しい・苦しい原因	2つ以内で回答	売上高が予定額に達しないため	179 (72.8)	236 (85.2)	210 (74.2)	158 (70.2)
			売上利益が予定額に達しないため	77 (31.3)	104 (37.5)	140 (49.5)	95 (42.2)
			受取手形が多くなるため	11 (4.5)	7 (2.5)	12 (4.2)	12 (5.3)
			受取手形の期日が長くなるため	3 (1.2)	4 (1.4)	5 (1.8)	4 (1.8)
			金融機関からの借入が円滑にできないため	23 (9.3)	14 (5.1)	22 (7.8)	19 (8.4)
			借入返済額が大きいため	57 (23.2)	65 (23.5)	52 (18.4)	41 (18.2)
			在庫品が増えるため	14 (5.7)	5 (1.8)	8 (2.8)	10 (4.4)
			売上代金の回収が悪いため	32 (13.0)	25 (9.0)	24 (8.5)	25 (11.1)
			焦付、貸倒的売掛が発生しているため	6 (2.4)	4 (1.4)	7 (2.5)	7 (3.1)
			経費が増大しているため	45 (18.3)	37 (13.4)	24 (8.5)	30 (13.3)
			その他(具体的に)	4 (1.6)	3 (1.1)	2 (0.7)	8 (3.6)
			N A	2 (0.8)	3 (1.1)	7 (2.5)	1 (0.4)
			(9) 今年8月末の預金高はどのくらい	ありましたか	100万円未満	104 (17.6)	91 (16.2)
100～300万円未満	139 (23.6)	145 (25.8)			131 (21.1)	142 (21.7)	
300～500万円未満	92 (15.6)	96 (17.1)			99 (15.9)	93 (14.2)	
500～1000万円未満	98 (16.6)	89 (15.8)			91 (14.6)	103 (15.7)	
1000～2000万円未満	58 (9.8)	64 (11.4)			81 (13.0)	75 (11.5)	
2000～5000万円未満	55 (9.3)	32 (5.7)			57 (9.2)	67 (10.2)	
5000万円以上	26 (4.4)	27 (4.8)			32 (5.1)	38 (5.8)	
N A	18 (3.1)	19 (3.4)			22 (3.5)	23 (3.5)	
金融機関との							

区 分		12年度	13年度	14年度	16年度	
取引状況についておたずねします	(10) 今年8月末の借入額はどのくらいありましたか	0	45	52	56	70
		(7.6)	(9.2)	(9.0)	(10.7)	
	100万円未満	21	25	31	24	
		(3.6)	(4.4)	(5.0)	(3.7)	
	100～300万円未満	63	70	60	72	
		(10.7)	(12.4)	(9.6)	(11.0)	
	300～500万円未満	71	45	47	62	
		(12.0)	(8.0)	(7.6)	(9.5)	
	500～1000万円未満	69	75	94	73	
		(11.7)	(13.3)	(15.1)	(11.1)	
	1000～3000万円未満	153	138	141	159	
		(25.9)	(24.5)	(22.7)	(24.3)	
	3000～5000万円未満	63	69	71	75	
	(10.7)	(12.3)	(11.4)	(11.5)		
5000～1億円未満	45	49	57	65		
	(7.6)	(8.7)	(9.2)	(9.9)		
1億円以上	48	30	49	42		
	(8.1)	(5.3)	(7.9)	(6.4)		
N A	12	10	16	13		
	(2.0)	(1.8)	(2.6)	(2.0)		
(11) ペイオフ全面解禁への対応について	預金高が少ないので対応していない				416	
					(63.5)	
	金融機関への対応が済んでいる				91	
					(13.9)	
	まだ済んでいないのでこれから対応したい				112	
				(17.1)		
その他具体的に				7		
				(1.1)		
N A				29		
				(4.4)		
借入状況について	(12) 現在の借入先はどこですか					
	多い順に3つ					
	普通銀行	371	350	380	408	
		(62.9)	(62.2)	(61.1)	(62.3)	
	信用金庫	240	207	259	259	
		(40.7)	(36.8)	(41.6)	(39.5)	
	信用組合	52	50	44	48	
		(8.8)	(8.9)	(7.1)	(7.3)	
	国民生活金融公庫	325	324	361	343	
		(55.1)	(57.5)	(58.0)	(52.4)	
中小企業金融公庫	40	31	35	35		
	(6.8)	(5.5)	(5.6)	(5.3)		
商工組合中央金庫	14	9	11	10		
	(2.4)	(1.6)	(1.8)	(1.5)		
農協	39	46	36	45		
	(6.6)	(8.2)	(5.8)	(6.9)		
その他	26	32	27	30		
	(4.4)	(5.7)	(4.3)	(4.6)		
N A	43	39	51	-		
	(7.3)	(6.9)	(8.2)	(-)		

区 分		12年度	13年度	14年度	16年度	
お た ず ね し ま す	(13) 借入額は 3月に比べて 今年	ふえた	202 (34.2)	171 (30.4)	161 (25.9)	196 (29.9)
		変わらず	169 (28.6)	178 (31.6)	200 (32.2)	177 (27.0)
		減った	183 (31.0)	187 (33.2)	219 (35.2)	229 (35.0)
		N A	36 (6.1)	27 (4.8)	42 (6.8)	53 (8.1)
	(14) 金利は 3月に比べて 今年	上がった	30 (5.1)	18 (3.2)	37 (5.9)	46 (7.0)
		変わらず	364 (78.6)	379 (67.3)	440 (70.7)	483 (73.7)
		下った	56 (9.5)	130 (23.1)	95 (15.3)	63 (9.6)
		N A	40 (6.8)	36 (6.4)	50 (8.0)	63 (9.6)
	(15) 平均 から 借入 で す か は ど の	2.0%未満	21 (3.6)	75 (13.3)	103 (16.6)	180 (27.5)
		2.0~ 2.5%未満	226 (38.3)	238 (42.3)	283 (45.5)	240 (36.6)
		2.5~ 3.0%未満	178 (30.2)	138 (24.5)	121 (19.5)	111 (16.9)
		3.0~ 3.5%未満	56 (9.5)	41 (7.3)	25 (4.0)	31 (4.7)
		3.5~ 4.0%未満	26 (4.4)	18 (3.2)	16 (2.6)	15 (2.3)
		4.0~ 4.5%未満	11 (1.9)	3 (0.5)	3 (0.5)	3 (0.5)
		4.5~ 5.0%未満	8 (1.4)	- (-)		
		5.0~ 5.5%未満	2 (0.3)	1 (0.2)	2 (0.3)	1 (0.2)
		5.5~ 6.0%未満	1 (0.2)	1 (0.2)		
		N A	1 (0.2)	- (-)	69 (11.1)	74 (11.3)
	(16) 借入 申込 最近 6 ヶ月	申込した	307 (52.0)	277 (49.2)	274 (44.1)	349 (53.3)
		申込しなかった	271 (45.9)	281 (49.9)	329 (52.9)	293 (44.7)
NA		12 (2.0)	5 (0.9)	19 (3.1)	13 (2.0)	
(17) 借入の 満足度 は	非常に満足した	75 (24.4)	70 (25.3)	43 (15.7)	82 (23.5)	
	まあ満足した	195 (63.5)	175 (63.2)	205 (74.8)	220 (63.8)	
	満足できなかった	30 (9.8)	25 (9.0)	18 (6.6)	27 (7.7)	
	ことわられた	3 (1.0)	4 (1.4)	4 (1.5)	3 (0.9)	
	N A	4 (1.3)	3 (1.1)	4 (1.5)	17 (4.9)	

区 分		12年度	13年度	14年度	16年度	
借入状況についておたずねします	(18) 貸し渋りを感じるか	ある	64 (28.1)	63 (30.9)	47 (20.7)	52 (20.8)
		ない	151 (66.2)	131 (64.2)	164 (72.2)	187 (74.8)
		N A	13 (5.7)	10 (4.9)	16 (7.0)	11 (4.4)
	(19) 貸し渋りの内容 3つ以内	金額査定減	22 (34.4)	21 (33.3)	14 (29.8)	20 (38.5)
		追加融資不可	23 (35.9)	17 (27.0)	16 (34.0)	21 (40.4)
		既往貸付の回収	13 (20.3)	19 (30.2)	14 (29.8)	7 (13.5)
		金利の上乗せ	4 (6.3)	2 (3.2)	5 (10.6)	3 (5.8)
		担保・保証人の強化	30 (46.9)	36 (57.1)	22 (46.8)	17 (32.7)
		保証協会の付保	24 (37.5)	26 (41.3)	19 (40.0)	19 (36.5)
		審査機関の長期化 審査資料の増加	17 (26.6)	17 (27.0)	6 (12.8)	10 (19.2)
		その他	1 (1.6)	- (-)	1 (2.1)	1 (1.9)
		N A	4 (6.3)	2 (3.2)	- (-)	- (-)
	(20) 借りにくい・借りられない理由	取引実績がない	2 (3.1)	2 (3.2)	2 (4.3)	- (-)
		担保力がない	18 (28.1)	12 (19.0)	5 (10.6)	6 (11.5)
		しつかりした保証人がいない	6 (9.4)	9 (14.3)	3 (6.4)	3 (5.8)
		取引実績が悪い	- (-)	1 (1.6)	1 (2.1)	2 (3.8)
		借入残高が多い	28 (43.8)	31 (49.2)	17 (36.2)	16 (30.8)
		業績が思わしくない	- (-)	- (-)	14 (29.8)	20 (38.5)
		その他	3 (4.7)	3 (4.8)	2 (4.3)	- (-)
		N A	7 (10.9)	5 (7.9)	3 (6.4)	5 (9.6)
	(21) 条件変更希望するか	希望する	95 (16.1)	122 (21.7)	136 (21.9)	116 (17.7)
希望しない		469 (79.5)	415 (73.3)	453 (72.8)	511 (78.0)	
N A		26 (4.4)	26 (4.6)	33 (5.3)	28 (4.3)	
(22) 希望の条件変更は	元金の一時据置	25 (26.3)	27 (22.1)	26 (19.1)	19 (16.4)	
	返済期間の延長	36 (37.9)	47 (38.5)	57 (41.9)	54 (46.6)	
	長期資金への切換	31 (32.6)	37 (30.3)	40 (29.4)	28 (24.1)	
	担保権の消滅	2 (3.2)	8 (6.6)	7 (5.1)	7 (6.0)	

区 分		12年度	13年度	14年度	16年度	
借入状況についておたずねします	(23) 条件変更を希望する理由は何か	不良債権の発生	2 (2.1)	1 (0.8)	3 (2.2)	3 (2.6)
		売上の急激な減少	35 (36.8)	57 (46.7)	69 (50.7)	36 (31.0)
		借入難	7 (7.4)	9 (7.4)	5 (3.7)	6 (5.2)
		借入返済額が過重	41 (43.2)	49 (40.2)	45 (33.1)	59 (50.9)
		取引条件の悪化	3 (3.2)	1 (0.8)	5 (3.7)	2 (1.7)
		経営外への資金流失	3 (3.2)	1 (0.8)	- (-)	3 (2.6)
		その他	4 (4.2)	- (-)	2 (1.5)	2 (1.7)
	(24) 条変の難易	容易である	4 (4.2)	7 (5.7)	5 (3.7)	6 (5.2)
		交渉次第で何とかなる	45 (47.4)	53 (43.4)	61 (44.9)	58 (50.0)
		難しい	44 (46.3)	56 (45.9)	64 (47.1)	45 (38.8)
	(25) 借金の返還	ある			61 (9.8)	37 (5.6)
		ない			533 (85.7)	595 (90.8)
		N A			28 (4.5)	23 (3.5)
	(26) 経営悪化時の相談先	商工会				325 (49.6)
		中小企業支援センター				11 (1.7)
		金融機関				221 (33.7)
		政府系金融機関				8 (1.2)
		親戚・友人・知人				39 (6.0)
		その他				20 (3.1)
		N A				31 (4.7)
	(27) 借入計画	ある	189 (32.0)	191 (33.9)	225 (36.2)	202 (30.8)
		ない	395 (66.9)	365 (64.8)	390 (62.7)	437 (66.7)
		N A	6 (1.0)	7 (1.2)	7 (1.1)	16 (2.4)

区 分		12年度	13年度	14年度	16年度	
借入計画についておたずねします	(28) 設備資金の用途は何ですか	土地建物の取得	17 (9.0)	6 (3.1)	10 (4.4)	13 (6.4)
		工場・店舗等の改修・補修	30 (15.9)	22 (11.5)	35 (15.6)	29 (14.4)
		パソコン等のIT機器				10 (5.0)
		製造機器				14 (6.9)
		車両等の購入	50 (26.5)	57 (29.8)	75 (33.3)	34 (16.8)
		従業員の福祉施設の設置	2 (1.1)	1 (0.5)	2 (0.9)	2 (1.0)
		公害防止関係設備	— (-)	3 (1.6)	3 (1.3)	3 (1.5)
		その他	1 (0.5)	9 (4.7)	9 (4.0)	7 (3.5)
		N A	89 (47.1)	93 (48.7)	91 (40.4)	90 (44.6)
	(29) 運転資金の用途は何ですか	商品原材料の現金買	31 (16.4)	23 (12.0)	41 (18.2)	30 (14.9)
		買掛・手形の決済	60 (31.7)	65 (34.0)	84 (37.3)	68 (33.7)
		諸経費の支払い、納税	28 (14.8)	42 (22.0)	45 (20.0)	40 (19.8)
		賞与・給与の支払い	28 (14.8)	20 (10.5)	19 (8.4)	16 (7.9)
		他の借入返済に充当	16 (8.5)	21 (11.0)	15 (6.7)	11 (5.4)
		新分野進出への準備資金	—	—	5 (2.2)	3 (1.5)
		N A	26 (13.8)	19 (9.9)	16 (7.2)	34 (16.8)
	(30) 借入の時何を重視しますか 2つ以内で回答	近くで便利	108 (18.3)	66 (11.7)	104 (16.7)	96 (14.7)
		金利が低い	352 (59.7)	374 (66.4)	370 (59.5)	407 (62.1)
		返済期間が手頃	186 (31.5)	139 (24.7)	142 (22.8)	157 (24.0)
		条件が有利	206 (34.9)	233 (41.4)	257 (41.3)	294 (44.9)
		サービスがよい	26 (4.4)	22 (3.9)	20 (3.2)	24 (3.7)
		経営上の相談・指導が得られる	69 (11.7)	74 (13.1)	87 (14.0)	94 (14.4)
		日ごろの付き合い	92 (15.6)	100 (17.8)	114 (18.3)	108 (16.5)
		その他	9 (1.5)	1 (0.2)	4 (0.6)	7 (1.1)
		N A	41 (6.9)	19 (3.4)	32 (5.1)	— (-)

区 分		12年度	13年度	14年度	16年度	
借入計画についておたずねします	(31) 借入の際何が懸念されますか 2つ以内で回答	業況の先行き見通し難		305 (54.2)	369 (59.3)	341 (52.4)
		借入後の返済力		266 (47.2)	282 (45.3)	355 (54.2)
		不動産担保余力		48 (8.5)	47 (7.6)	21 (3.2)
		連帯保証人		139 (24.7)	148 (23.8)	119 (18.2)
		金融機関の対応		39 (6.9)	36 (5.8)	71 (10.8)
		信用保証協会の付保		29 (5.2)	23 (3.7)	37 (5.6)
		後継者難		34 (6.0)	40 (6.4)	54 (8.2)
		その他		1 (0.2)	1 (0.2)	2 (0.3)
		特になし		41 (7.3)	60 (9.6)	64 (9.8)
		N A		30 (5.3)	40 (6.4)	- (-)
	(32) 緊急資金要 明日必要	ある				145 (22.1)
		ない				488 (74.5)
		NA				22 (3.4)
	(33) どう手当てしたか	当座借越				36 (24.8)
		手形借入				39 (26.9)
		根拠借入				3 (2.1)
		カード・ローン				35 (24.1)
		その他				26 (17.9)
		N A				6 (4.1)
	(34) 今後の資金調達方法 2つ以内で回答	ローン担保証券				56 (8.5)
		中小企業支援ファンド				86 (13.1)
		出資の受入				51 (7.8)
		社債の発行				13 (2.0)
		少人数私募債				24 (3.7)
		その他				57 (8.7)

区 分		12年度	13年度	14年度	16年度	
融 資 制 度 に つ い て お た ず ね し ま す	(35) 過去1年以内 制度融資の利用	あ る	464 (78.6)	414 (73.5)	461 (74.1)	355 (54.2)
		な い	111 (18.8)	126 (22.4)	133 (21.4)	277 (42.3)
		知らない	10 (1.7)	15 (2.7)	17 (2.7)	- (-)
		N A	5 (0.8)	8 (1.4)	11 (1.8)	23 (3.5)
	(36) 2つ選択 どの制度利用	マル経資金	320 (54.2)	297 (52.8)	345 (55.5)	127 (35.8)
		県小口事業資金	333 (56.4)	297 (52.8)	339 (54.5)	218 (61.4)
		マル商資金	215 (36.4)	174 (30.9)	170 (27.3)	31 (8.7)
		その他の制度				64 (18.0)
			12~14年はそれぞれの設問回答数を計上した			
	(37) 利用しなかった理由	利用する必要が なかった	299 (50.7)	268 (47.6)	67 (77.9)	233 (84.1)
		メリットがない	7 (1.2)	10 (1.8)	- (-)	6 (2.2)
		手続きが面倒 だから	32 (5.4)	39 (6.9)	5 (5.8)	9 (3.2)
		融資条件に合致 しないから	42 (7.1)	33 (5.9)	7 (8.1)	11 (4.0)
		制度融資を知ら なかった	-	-	-	14 (5.1)
		その他	16 (2.7)	- (-)	3 (3.5)	0 (-)
		N A	194 (32.9)	213 (37.8)	4 (4.7)	4 (1.4)
	(38) 16年のみ2つ以内で回答 融資制度の内容・条件の緩和	限度額を増やす	58 (9.8)	44 (7.8)	40 (6.4)	155 (23.7)
		期間を延長する	82 (13.9)	100 (17.8)	112 (18.0)	192 (29.3)
		金利を下げる	102 (17.3)	119 (21.1)	139 (22.3)	291 (44.4)
		申し込み手続を 簡単にする	135 (22.9)	118 (21.1)	144 (23.2)	200 (30.5)
		保証協会の枠 拡大	9 (1.5)	74 (13.1)	82 (13.2)	100 (15.3)
		第三者保証の 緩和	-	-	-	161 (24.6)
		その他	95 (16.1)	14 (2.5)	24 (3.9)	4 (0.6)
		N A	109 (18.5)	94 (16.7)	81 (13.0)	- (0)

商 工 会 名					
	未記入		受付 No		

平成16年度 中小企業金融実態調査

富山県商工会連合会

記入上のお願い

- 平成16年9月1日現在でご記入ください。
- 回答は、該当する番号を選び、その番号を回答欄にご記入ください。
- なるべく、経営者ご自身でお答えください。

回答記入欄	
設問 番号	回答番号

○の中の数字を
ご記入ください

企業の概要についておたずねします。

- 1、業種は次のどれにあたりますか。

建設業	製造業	卸売業
小売業	飲食業・宿泊業	サービス業
運輸業	その他	

1	
---	--

- 2、創業してから何年になりますか。

2年未満	2～5年未満	5～10年未満
------	--------	---------

2	
---	--

- 3、常時使用する従業員(3日月以上継続雇用しているパートを含み、家族を除

0人	1人	2人	3～5人	6～10人
11～15人	16～20人	21人以上		

3	
---	--

営業の状況についておたずねします。

- 4、ここ1年間の売上高はどのくらいでしたか。

500万円未満	500～1,000万円未満
1,000～3,000万円未満	3,000～5,000万円未満
5,000～1億円未満	1億円～1億5,000万円未満
1億5,000万円以上	

4	
---	--

- 5、ここ1年間の売上高は前年同期と比べてどのくらいですか。

増加	5%未満	5～10%未満
	10～20%未満	20%以上
減少	5%未満	5～10%未満
	10～20%未満	20%以上

5	
---	--

6、採算の状況はいかがですか。

現在の採算状況は 黒字 収支とんとん 赤字
 2年前と比べて 好転した 変わらない
 悪化した わからない

6	
(1)	
(2)	

7、今年10～12月の資金繰りはどのようになるとお考えですか。

大変苦しくなる 苦しくなる

変わらない 楽になる わからない (問9へお進みください)

7	
---	--

8、資金繰りが苦しくなる原因は何ですか(2つ以内でお答えください)。

売上高が予定額に達しないため 売上利益が予定に達しないため
 売上代金の手形受け取り分が多くなるため
 受取手形の期日が長くなるため
 金融機関からの借入れが円滑にできないため
 借入返済額が大きいため 在庫が増えるため
 売上代金の回収が悪いため
 こげつき、貸倒れの売掛金が発生しているため
 経費が増大しているため その他(具体的に)

8	

金融機関との取引状況についておたずねします。

9、今年8月末の預金高はどのくらいありましたか。

100万円未満 100～300万円未満 300～500万円未満
 500～1,000万円未満 1,000～2,000万円未満
 2,000～5,000万円未満 5,000万円以上

9	
---	--

10、今年8月末の借入額はどのくらいありましたか。

0 100万円未満 100～300万円未満
 300～500万円未満 500～1,000万円未満
 1,000～3,000万円未満 3,000～5,000万円未満
 5,000～1億円未満 1億円以上

10	
----	--

11、「ペイオフ全面解禁」への対応について一だけお答えください

預金高が少ないので、対応していない。
 各金融機関への対応は済んでいるので、心配していない。
 各金融機関への対応は済んでいないが、これから鋭意対応したい。
 その他(具体的に)

11	
----	--

借入状況についておたずねします。

12、現在の借入先は、どこですか(借入額の多い順に3つ以内であげてください)。

普通銀行(都市銀行、地方銀行) 信用金庫 信用組合
 国民生活金融公庫 中小企業金融公庫 商工組合中央金庫
 農協 その他

12	

- 13、借入額は(今年3月頃に比べて)
 ふえた 変わらず へった 13
- 14、金利は(今年3月頃に比べて)
 上がった 変わらず 下がった 14
- 15、現在の平均借入金利(手形割引も含む)はどのくらいですか。
 2%未満 2～2.5%未満 2.5～3%未満 15
 3～3.5%未満 3.5～4%未満
 4～4.5%未満 4.5%以上
- 16、最近6ヶ月間に借入申込をされましたか。
 した しなかった (問 21へお進みください) 16
- 17、借入は満足できるものでしたか。
 非常に満足した まあ満足した 満足できなかった 17
 (問 21へお進みください) ことわられた
- 18、「貸し渋り」と感じるようなことがありましたか。
 ある ない (問 21へお進みください) 18
- 19、「貸し渋り」の内容は何ですか(3つ以内でお答えください)。
 金額査定減 追加融資不可 既往貸付の回収 19
 金利の上乗せ 担保・保証人の強化
 保証協会の付保 審査期間の長期化・審査資料の増加
 その他(具体的に)
- 20、借りにくい、借りられない理由はなんですか。
 取引実績がない 担保力がない しっかりした保証人がいない 20
 取引実績が悪い 借入残高が多い 業績が思わしくない
 その他(具体的に)
- 21、現在の借入返済の負担軽減のための条件変更を希望されますか。
 希望する 希望しない (問 25へお進みください) 21
- 22、希望される条件変更を1つだけあげてください。
 元金返済の一時据置 返済期間の延長 22
 長期資金への切換 担保等の軽減
- 23、条件変更を希望される理由は何ですか。
 不良債権の発生 売上の急激な減少 借入難 23
 借入返済額が過重 取引条件の悪化
 経営外への資金流出 その他()

24、条件変更について金融機関(保証協会扱い分も含む)では容易に認めますか。
 容易である 交渉次第でなんとかなる
 難しい(理由)

24	
----	--

25、この ~2年の間で金融機関から借入金の返還(貸し剥がし)を求められたことがありますか。
 ある ない

25	
----	--

26、著しく経営が悪化し、先行きについて大きな問題が生じたとき、どこへ相談に行きますか。
 商工会 県・地域の中小企業支援センター 金融機関
 「政府系金融機関 親戚・友人・知人
 その他(具体的に)

26	
----	--

借入計画についておたずねします。

27、今後1年間に借入の計画がありますか。
 ある ない (問30へお進みください)

27	
----	--

28、設備資金の場合用途はなんですか(最重要なもの1つだけお選びください)。
 土地建物の取得 工場・店舗等の補修・改修
 パソコン等の T機器 製造機器
 車両等の購入 従業員の福祉施設の設置
 公害防止関係設備(環境対策含む) その他(具体的に)

28	
----	--

29、運転資金の場合用途は何ですか(最重要なもの1つだけお選びください)。
 商品・原材料の現金買い 買掛・手形の決済
 諸経費の支払、納税 給与・賞与の支払
 他の借入返済に充当 新分野進出への準備資金

29	
----	--

30、借入をなさる場合、何を重視して借入なさいますか(2つ以内でお答えください)。
 近くあって便利なこと 金利が低いこと 返済期間が手頃なこと
 条件が有利であること サービスがよいこと
 経営上の相談、指導が得られること 日頃のつきあい
 その他()

30	
----	--

31、借入を考える場合今何が懸念されますか(2つ以内でお答えください)。
 業況の先行見とおし難 借入後の返済力 不動産担保余力
 連帯保証人 金融機関の対応 信用保証協会の付保
 後継者難 その他()
 特になし

31	
----	--

32、資金が不足し、「緊急に資金が必要(明日必要)」という事態が生じたことがありますか。
 ある ない (問34へお進みください)

32	
----	--

33、 その場合どのように手当しましたか。

当座借越 手形借入 根拠借入
カード・ローンの利用 その他(具体的に)

33	
----	--

34、 資金調達についておたずねします。

調達の方法にはいろいろありますが、今後考えてみたい方法について次の中から
お選びください(2つ以内でお答えください)。

CLO(ローン担保証券) 中小企業支援ファンド(投資事業・債務保証)
出資の受入 社債の発行 少数株私募債の発行
その他(具体的に)

34	
----	--

(注) CLO(ローン担保証券)とは、複数の融資債権をとりまとめて証券化し、これを
投資家に販売することによって、資金を調達する仕組みです。
県の「富山県CLO融資」があります。
中小企業支援ファンドとは、財団等の預託、株式や債権の保有、保証
によって、資金を調達する仕組みです。
少数株私募債とは、社債の一種で、発行する企業の縁故者をあいてにするも
ので、50人未満の人たちから、資金を調達する仕組みです。

融資制度等についておたずねします。

35、 国(政府系金融機関)や県、市町村、商工会等の融資制度を過去1年以内に利用
されたことがありますか。

ある (問36へお進みください)
 ない (問37へお進みください)

35	
----	--

(注) 県・市町村の融資制度とは、都道府県、市町村が直接に、またはその資金を民間
金融機関に預託し、民間金融機関がそれを原資として中小企業等に融資する制度
をいいます。例えば、県融資制度では、小口事業資金、経営安定資金、新産業
ベンチャー創出支援資金、商業サービス業活性化資金等があります。また、富山市
では運転資金、福利厚生施設設備資金、工場移転促進事業資金等があります。
・マル経資金とは、小企業等経営改善資金といい、商工会を通じて国民生活金融
公庫で取り扱っている無担保・無保証人の融資制度です。
・マル商資金とは、商工貯蓄共済の加入対象とする融資制度(商工会共済
融資制度)で、各商工会が窓口となっています。

36、 あると答えた方は、どの制度を利用されましたか(2つ選んでください)。

マル経資金 県小口事業資金 マル商資金
その他の制度資金(具体的に)

36	
----	--

